

第12 成績評価基準及び単位の認定

1. 成績評価基準

授業科目の成績評価は最高100点の点数制で評価します。成績は、表5に示すように、点数基準に従ってS、A、B、C、Dによって表記します。C表記60点以上が合格であり、D表記59点以下は不合格です。

評価	素点	合否	評価の方策
S	100点～90点	合格	特に優れた成績を示したもの
A	89点～80点		優れた成績を示したもの
B	79点～70点		妥当と認められる成績を示したもの
C	69点～60点		合格と認められる最低限の成績を示したもの
D	59点以下	不合格	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの

表5 成績評価と点数基準

- (1) 授業科目の成績は、試験、レポート、演習・小問、参加姿勢によって評価されます。シラバスには、例えば講義授業では「定期試験60点+演習・小問40点=100点で評価する」ように、また実験授業では「参加姿勢40点+実験レポート60点=100点で評価する」ように、成績評価の方法が明記されています。
- (2) 合格した授業科目に対する成績の取り消しや受験のやり直しはできません。

2. GPA評価

GPAとは、Grade Point Average(成績評価点平均値)のことで、学生が主体的・意欲的に学習するための有効な指標です。

- (1) 成績評価S、A、B、C、Dのそれぞれに対応して評価ポイントGP=4、3、2、1、0を与え、さらに授業科目の単位の値を考慮してGPAを算出します。
[表6に成績表記とGP(評価ポイント)を示します]
- (2) 評価「-」(ハイフン)は、履修登録した科目の末受験を表しGP=0として計算されます。
- (3) 成績評価Nは、入学又は編入学以前や留学中の修得科目であって成績の読替不能を表し、GP=不定としてGPA算出の対象外となります。
- (4) すべての履修科目の平均値としてGPAが算出されます。

合否	評価	GP	素点	評価の方策 (Grading Policy)
合格	S	4	100~90点	特に優れた成績を示したもの (Excellent)
	A	3	89~80点	優れた成績を示したもの (Good)
	B	2	79~70点	妥当と認められる成績を示したもの (Fair)
	C	1	69~60点	合格と認められる最低限の成績を示したもの (Poor)
不合格	D	0	59点以下	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの (Fail)
評価不能	-	0	履修放棄	学修成果の評価を判断する要件を欠格している
認定	N	計算対象外		認定したもの (Pass) ※入学以前に修得した科目、留学中に修得した科目のうち成績の読替ができない科目

表6 成績評価とGP (評価ポイント)

GPA評価は、学部学科によってその活用法は異なりますが、以下のとおり活用されること
があります。

- 1) 学位授与式における総代などの表彰選考
- 2) 奨学金の選考及び適格認定

GPA算出は、次の計算式によって行われます。

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{S修得単位数} + 3 \times \text{A修得単位数} + 2 \times \text{B修得単位数} + 1 \times \text{C修得単位数} + 0 \times (\text{D又は-の単位数})}{\text{総履修単位数 (Dと-は含むが、Nは含まない)}}$$

3. 合格発表 (単位認定)

合格した授業科目については、所定の単位を認定する。授業科目には、半期で修得する授業科目と通年で修得する授業科目があり、前期科目の合格発表は8月下旬頃、後期科目・通年科目の合格発表は2月中旬頃に、UNIPAを通して行われます。